



牧之原市長
杉本基久雄

市のさらなる繁栄のため
着実に歩を進める

新年おめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろは市政の運営に対し温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。昨年は、令和の時代が始まった節目の年であり、市においては田沼意次侯生誕300年関連事業でにぎわった1年でありました。稀代の政治家である意次侯の「改革の精神」を引き継ぎ、まちづくりや観光・産業の振興に、引き続き取り組んでまいります。

さて、本年度から「牧之原市第2次総合計画」後期計画がスタートした中で、市では特に若者世代が魅力を感じる子育て、教育、雇用環境の実現を目指し、さまざまな事業に取

り組んでまいりました。これまで進めてきた移住・定住補助や津波避難施設の整備などに加え、主要プロジェクトの一つとして、民間の空き店舗を活用した図書館やカフェ、市民の交流スペースを有する公民複合施設の整備に向け、現在設計を行っているところです。

さらに、若者の働く場所やにぎわいの場、住宅を確保し、定住・交流人口の増加を図るための相良牧之原IC北側地区における高台開発については、市と事業主体である準備組合、業務代行予定者の3者により業務協定を締結する運びとなりました。市全体に効果が及ぶ新たなまちづくりに向けて前進することとなり、引き続き準備組合や地域の皆さまと共に取り組みを進めてまいります。

そして7月にはいよいよ東京五輪が開催されます。市としても、サーフィン競技のホストタウンとして、海岸利用者が快適に過ごせる環境を整備するとともに、先月発表された民間事業者によるウェーブブール計画を追い風に、沿岸部の活性化を推進してまいります。

こうした大きなプロジェクトが動き出したことで、人口減少が続く市の将来に光明が差してきました。今年の干支は庚子です。ねずみは十二支の1番目であり、子孫繁栄の象徴でもあります。新時代への気持ちを新たに、牧之原市のさらなる繁栄のため着実に歩を進めてまいります。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



牧之原市議会議長
中野康子

議員一人一人が研さんに努め
市民に寄り添う身近な存在に

謹賀新年

2020年 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい令和2年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから牧之原市議会に対し、ご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。昨年は、元号が「平成」から「令和」に変わり、日本にとって大きな節目を迎えた年でございました。牧之原市においても、11月に田沼意次侯生誕300年記念大祭と勝間田城址543年祭の記念事業が盛大に開催されました。多くの皆さまに牧之原市へお越しいただき、まさに「牧之原市改革元年」にふさわしい記念事業となりました。

意次侯を活かしたまちづくりの趣旨に賛同し、9月定例会において「田沼意次侯 生誕300年 議会宣言」を行いました。今後、意次侯に市のシティプロモーションの一翼を担っていただき、全国に牧之原市を継続的にPRしてもらうための積極的な政策提言などを行い、宣言した責任を果たしてまいります。一方で、度重なる台風上陸による豪雨などで、全国各地で甚大な被害が発生し、市内にも大きな爪痕を残しました。静岡県は、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されています。市では、津波防災まちづくり計画などのソフト面から避難地・避難路整備などのハード面まで、さまざまな事業が進められてきましたが、近年の予測が

つかない自然災害に備え、官民一体となった自主防災組織の強化などの対策が必要だと痛感させられました。市議会としては、魅力ある安心安全の地域社会実現のため、これまで以上に市民の皆さまの多様な意見を行政に適切に反映させるべく、議員一人一人が研さんに努め、市民に寄り添う身近な存在にならなければなりません。本年も、さまざまな市政の課題解決に向け、議論を重ねるとともに、公正で活力ある議会運営を図り、議員一丸となって期待に応えるべく誠心誠意尽くしてまいります。結びに、令和2年が市民の皆さまにとって、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。